

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-63

学校名・団体名	犬山市立東部中学校
HPアドレス	http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2320090
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	「夢の実現に向けて努力する生徒の育成」
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>自分に自信がもてなかったり、将来の夢をもてなかったりする生徒が、集団への不適応を起こしている事例は少なくない。自分に自信をもつことや夢をもつこと、そして、それを表現し、受け入れ合うことができる社会性を高めることが大切であると考えた。そこで、「体と心の健康」を育み、その成長を支援する実践の先にある、我々が育てたい生徒像を研究主題とした。</p> <p>また、その生徒像に迫るためには「体の健康」と「心の健康」の成長を支援することに加え、「自らの思いや考えを積極的に表現する活動」を経験させることで、夢の実現に向けて努力する生徒が育つであろう。</p>	

I 学校経営方針と健康づくり

本校は、開校時より教育目標を「強く 正しく 豊かに 伸びる」とし、教育活動を実践している。学校教育目標を基盤とし、地域・家庭と連携しながら生徒の育ちを支えている。健康推進に取り組むにあたり、本校の教育目標を「健康」という観点から捉え直し、全職員で健康推進に対する共通理解を図り、学校教育活動のあらゆる場面において、生徒たちの「体と心の健康」を育んでいきたいと考えた。

II 学校保健委員会

学校保健委員会は、年3回実施している。平成27年度の第1回目は、「睡眠」をテーマに、生徒保健委員が睡眠習慣を立て直す3か条を提案した後、協議を行った。家庭の実情や学校での様子を共有した後、学校医から睡眠の大切さについて指導を受けた。平成28年度は、小学校や地域の代表者の参加も得て、初の地域学校保健委員会を実施することができた。

III 特徴的な活動

① 健康行動への意欲

健康行動への意欲

② 知識

6月20日(火) がん教育前講座(3年)
9月15日(木) がん教育 保健集会
5月18日(水) コミュニケーション(1年)
6月1日(水) デートDV(2年)
1月10日(水) 性と生を考える(3年)
10月28日(金) 薬物乱用防止教室(2年)
11月4日-7日 心身衛生講話(2年)

③ 自尊感情

6月&7月 「夢」講演会
8月29日 意味の子育て体験
11月16日(火) 3年生 赤ちゃんって何? 寝て何? プロジェクト東部 「夢、語ろう」
9月10日(土) 学校公開日 小児がん 一言書
11月1日(日) 健康のうらば 命はもてにやわせない

④ 危険感

10月 2年学級思春期中心
10月 親子情報モラル教室
保健委員会「くすりキャンペーン」
セルフモニタリング

⑤ 感度の問題

委員会キャンペーン活動
学校保健委員会
スマホ安心・安全活用セミナー
我が家のSNS 使用ルール
子どもと大人... 一緒に考えよう!

⑥ 28年度の食育

① チャレンジ弁当
子どもを台所に立たせよう!
28年度の食育 ② 朝食指導
給食委員会 朝食調理実習
28年度の食育 ③ 食物アレルギー
1. 食物アレルギー対応委員会の開催
2. 全職員参加 エビイベント(アドレナリン自己注射訓練)

⑦ 全国健康づくり推進学校 優良校として

1月 今月の目標
1月 今月の目標
キャンペーン後、「睡眠日保」レベルアップ!
目覚ましを掛けて、5分以内に起きる。
11:00に寝て、5:30に起きる。
スマホは10:00まで、10:30までには布団に入る。
10:30からはスマホをさわらず11:00までに寝る。
休日8:00までには起きる。

⑧ 1月の目標

項目	達成状況	目標 OX
1月 今月の目標	達成	O
1月 今月の目標	達成	O
...

⑨ 睡眠力チェックの結果

項目	1年生		2年生		3年生	
	H26.9	H28.9	H26.9	H28.9	H26.9	H28.9
1	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	3.6
2	3.0	2.8	3.4	3.4	3.2	3.0
3	3.2	3.1	3.8	3.4	3.7	2.6
4	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	3.1
5	2.9	2.3	2.7	2.3	2.6	3.0
6	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.1
7	4.0	3.9	3.8	3.8	3.8	4.1
8	3.1	3.2	2.9	3.0	2.9	3.2
9	3.0	3.0	2.7	2.9	2.9	3.1
10	3.3	3.1	2.9	3.2	3.0	3.2
11	3.6	3.4	3.3	3.4	3.2	3.3
12	2.8	2.8	2.6	2.5	2.4	2.6
13	3.1	3.1	2.7	2.9	2.7	2.9
14	2.9	2.8	2.6	2.7	2.6	2.7
15	3.5	3.6	3.4	3.1	3.2	3.3
合計点	48.8	48.0	47.5	47.8	47.3	48.7

1 「強く部会」の活動

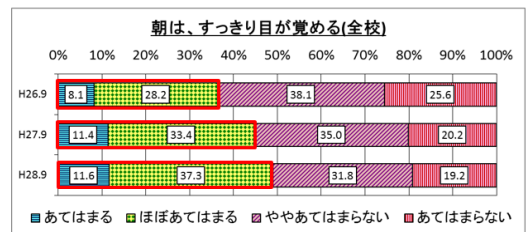
強く部会では、「朝の目覚めをよくする」という課題解決に向けた取組を中心に、不登校が増加傾向にある現状から、教育相談についても力を入れて取り組んだ。

(1) 睡眠教育

平成26年度11月より、全校で「睡眠日誌」の記録に取り組み始めた。前夜の睡眠時間を帯グラフ状に記入し、目覚めの良さ、心身の疲労度、寝付きやすい工夫等を記録し、前夜の睡眠を振り返る習慣をつけている。平成28年9月の同調査結果では、目覚めの良さを実感する生徒が増え、達成率は約48.9%に増加した(グラフ1)。睡眠習慣が心配な生徒に対し、保護者会の折に保健室にも来てもらい、睡眠状況を伝えながら、改善に向けた具体策を親子に提案し、個別指導の充実を図った。

(2) 不登校生徒への支援体制

一時的に教室に入ることが困難になった生徒や、不登校気味の生徒を受け入れる場として相談室とは別に「トライルーム」を設置している。教員が常駐して学習支援ができるよう、担当教員の時間割



<グラフ1 朝の目覚めの良さについての変化>
(平成26年9月~平成28年9月)

を決めている。担当者が生徒と話をしたり、折り紙等の作業を通して気持ちを和ませたり、学習支援を行ったりして、教室復帰への意欲を高めている。生徒たちは様々な教員と触れ合うことで、自分を振り返ったり、新たな視点をもつことができたりしている。

(3) がん教育

がんは日本人の2人に1人がかかると言われ、がん予防への理解を深めながら、生き方や命についても学ぶ必要性が高まっている。そこで、愛知県がんセンター研究所より講師を迎え、がん教育出前講座を実施した。講師には、本校が睡眠指導に力を入れていることを事前に伝え、がん予防の観点から、日頃の生活習慣の大切さについても話してもらった。その後、「小児がん」をテーマにした、同一教材による全校一斉道徳を実施したり、がんを克服して活躍しているシンガーソングライター杉浦貴之氏を迎えての講演会を開催したりして、「命」の大切さや人の生き方に対する考えをさらに深めた。

(4) 健康ひろば

「健康ひろば」は、外部講師を招いて、体験を取り入れた心とからだの健康について考えるための機会として設定している。系統立てたテーマ【1年「人間関係づくり」・2年「薬物乱用防止」・3年「性と生」】に沿った健康ひろばの他、全校対象の健康ひろばも実施した。全校健康ひろばでは、「夢を実現しようとする生徒の育成」というテーマに基づき、文字職人の杉浦誠司氏を講師に迎え、「強く生きるために」という講演会を企画・開催した。

2 「正しく部会」の活動

正しく部会では、「モラルや正義感への意識を高める」という課題解決に向けた取組を中心に、全校道徳や情報モラル教室等に取り組んだ。

(1) 親子で考える情報モラル教室

平成27年度は、「親子で考える情報モラル教室」を開催し、パネルディスカッションを行った。その後、SNSをめぐる問題への対策として、「我が家のSNS使用ルール」を親子で設定する機会を設けた。SNSの問題に家庭と学校が協力して対応していくためである。「使用時間・使用場所・マナーや個人情報情報の取り扱い・フィルタリング」の4つのテーマを示したところ、多くの家庭がしっかりと話し合い、各家庭のルールを明確にすることができた。平成28年度は、家庭で決めたルールを、保護者会の度に親子と担任が一緒になって再確認をした。

3 「豊かに部会」の活動

豊かに部会では、「読書への意欲を高める」という課題解決に向けた取組を中心に、読書指導に取り組んだ。また、地域の人材活用や生徒会の活性化を図り、生徒の自主性を大切にしながら、より多くの人の関わりを仕掛け、豊かな感性と「夢」を育む活動を行った。

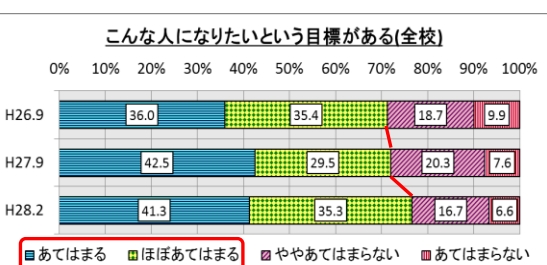
(1) 障害者スポーツを題材にした「夢講演」

平成27年度までの全校健康ひろばを、平成28年度からは「夢講演」と題して、生徒会主催で開催することとした。6月には競技用義足を作成している地元企業から義肢装具士を招き、1月には車いすバスケットボールチームを招いて、障害者スポーツへの理解を深めるとともに、困難を乗り越えて強く生きる姿やそれを支える人々の話から、夢を持つことや、苦しい環境の中でも目標を見失わないことの大切さを学んだ。

4 「伸びる部会」の活動

「自己効力感を高め、こんな人になりたいという目標をもつ」という課題解決に向けて、「授業」の中で自己効力感を高めながら、「夢」について考え、語り合う機会を設定した。

IV 成果と今後の課題



<グラフ5：自己の目標に対する意識の変化>
(平成26年9月～平成28年2月)

各部会での取組により、自己効力感の高まり、体の健康を支える睡眠への意識の高まり等、少しずつではあるがプラスの変容がみられた。これらの結果から、仮説の通り、「体と心の健康」に加え「自らの思いや考えを表現する力」を育てていくことが、夢の実現に向けて努力する上で必要な力の育成に貢献しているのではないかと考える。

「夢の実現に向けて努力する生徒の育成」を目指し、平成26年度に実施した実態調査から捉えた健康課題への解決を目指してきた。今後の課題は「家庭や地域との更なる連携」だと考えている。また、今後さらに「夢の実現に向けて努力する生徒の

育成」を目指していくためには、「思いの継続」が課題として考えられる。現在までの実態調査の結果を見ると、調査を行った月によって結果に差があることが分かる。どの調査項目においても、年度当初や学期始めは、肯定的に答える生徒が多いが、学期末や年度末になるとその人数が減少する傾向にある。年度当初や学期始めに抱いた「思い」を継続させ、伸ばしていけるような教師の指導力を高めることが課題である。今後も、教師力、家庭力、地域力を「生徒の思い」と絡ませながら、「チーム東中」として皆で一丸となり、取り組んでいくことが必要不可欠であると考えている。